



伊達市「ゼロカーボンシティ」宣言

【2050年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指します。】

地球温暖化による気候変動が一因と考えられる異常気象が世界各地で発生しています。

日本においても、頻発する台風災害や猛暑による健康被害、海水温の上昇による漁場環境への影響など、人々の生活や生態系に深刻な影響を与えています。

近年、地球温暖化の要因となっている温室効果ガスの排出を減らし、地球温暖化を抑制する取組に対する社会の意識や関心が高まっており、脱炭素社会の実現に向けた動きが世界規模で活発化しています。

本市はこれまで、伊達市環境基本条例の基本理念や伊達市環境基本計画の施策方針をもとに、公共施設への太陽光パネル設置や水素燃料電池自動車を導入するなど、地球温暖化対策に効果的な再生可能エネルギー利用に関する取組のほか、平成元年にごみ処理有料化を導入し、市民レベルでの環境負荷軽減や廃棄物削減への取組を積極的に進めてきました。

今後、本市の全国的にも恵まれた環境から生まれる再生可能エネルギーを最大限に活用した様々な取組を通して、2050年までのカーボンニュートラルの実現に向けた新たな取組により、地域の課題解決や基幹産業の農業をはじめとする産業全体の活性化を目指すとともに、地球温暖化対策をより一層推進していくために、「ゼロカーボンシティ」へ挑戦することを宣言いたします。

令和6年5月1日

伊達市長

堀井敬太